

# 石川樹脂工業株式会社における デザインとその保護の取り組み

石川樹脂工業株式会社 専務取締役 石川 勤

## 1 石川樹脂工業について

当社は1947年に石川県加賀市の山中温泉地域で創業した樹脂製品製造会社であり、創業者の石川重雄は戦後の物資不足を背景に、人々の生活向上を目指して漆器の木地販売からビジネスを開始しました。時代の変遷と共に、樹脂製漆器や欠けない箸、平らなお盆など独創的な製品を開発し、「誰もやらなかったことをやる」という企業理念の下で、伝統的技術を活かしつつ新素材や加工技術を採用し、品質の高い製品を創出しています。

当社は、加賀市の豊かな自然環境と、加賀藩の城下町としての深い歴史を背景に持つこの地で、山中漆器や九谷焼、加賀友禅などの伝統工芸から着想を

得て、高度な技術力と繊細な美意識を育んできました。これらの要素は、私たちの製品デザインにも色濃く反映されており、伝統の美しさと現代的なセンスを融合させた独創的なアイテムを市場に提供しています。

私たちは、インフラから日常生活に至るまで多岐にわたる分野で活動しており、電力や通信、鉄道設備に用いられる高品質な工業部品、耐候性や耐薬品性に優れた製品、伝統と現代デザインが融合した持ち運びに便利な樹脂製仏具、軽量で丈夫な独自素材を使用した食器、デザインに優れたインテリア雑貨など、幅広い製品群を提供しています。さらに、地域社会との共生を重視し、地元企業や団体と協力してイベントを開催し、学生に対するものづくり体験の機会を提供することで、地域活性化にも貢献しています。

伝統と革新の融合を追求する石川樹脂工業は、環境への配慮と持続可能な社会への貢献を重視し、新技術の開発と新製品の創出を通じて、世界中の人々から愛される企業を目指しています。業界を牽引する技術力と革新性を維持し、地域社会との共生及び未来への挑戦を続けている私たちの姿勢が、知的財産戦略の核心となっています。

### ●企業理念

素材の可能性を広げ、新しいカタチを創造し、  
よりよい未来に貢献する



Plakiraブランド、  
ARASブランドの商品群